

流転の海 宮本 輝 登場人物が多すぎてメモしておかないと人間関係がわからなくなる。

舞台 大阪市御堂筋 熊吾は戦前松坂ビルを建て自動車の中古部品を扱う
住まい 兵庫県御影
ふるさと 愛媛県南宇和郡城辺町北裡（病弱な息子伸仁のため2年ほど引っ込む）
再び大阪 堂島川と土佐堀川の合流地点（中華料理店・プロパンガス業などやる）
さらに富山市 豊川町 清水町 大泉町（再び自動車関係の仕事）
再び単身大阪 モータープール管理人→中古車販売業
妻と子も大阪 熊吾はいろんな事業に手を出す但裏切られることが多い

松坂 熊吾 主人公 事業家
妻 房江 かわいそうな過去を持つ。熊吾4人目の女。
子 伸仁 熊吾50歳にしてできた1人っ子 身体が弱いもやしっ子
張 邦徳 中国人の商売仲間
周 栄文 上海時代の友人々
谷山 節子 日本での周の愛人
谷山麻衣子 節子は周の愛人なのに周が中国に帰った後井草との間に産んだ子
海老原太一（亜細亜商会） 熊吾に恨みを持つ。当初、井草とつるんで熊吾の邪魔をした。
井草正之助 熊吾を裏切ったが、熊吾は金沢で井草の最後を看取ってやる
のり子 松坂家の女中
アソビ-カガ 米軍物資を熊吾に横流しする日系2世
辻堂 忠 熊吾の腹心 過去の詳細がわからない。最後は熊吾と距離を置く。
八木沢 熊吾が300万預けたが返ってこない
俵木 徳三 熊吾が200万預け、井草が取り立てたがとんずら
柄島 次郎 檜岡組やくざ 松坂ビル立ち退きでいざこざ
柳田 元雄 柳田商会社長 自動車部品 当初熊吾に対抗意識あり 後年よき援助者となる
河内 善助 河内モーター社長 自動車部品 熊吾に恩を感じている
稲葉 修次 コーヒー屋
丸尾千代麿 運送屋 熊吾のためなら使いっ走りでもなんでもする
筒井医師 松坂一家のかかりつけ医師
北沢 茂吉 大尉（逮捕され戦犯処理）岩井亜矢子の恋人だった
貴子 熊吾の幼なじみ（駆け落ちし、熊吾と結婚するつもりだったが若くして死んだ）
亀造 熊吾の父 死んだ
片桐善太郎 相場師 買いの天才
春菊 片桐の囲い者⇔熊吾2年契約の妾
直子 熊吾の姪 2人の子持ち 夫はサイパンで戦死 御影に住む
馬場 孝造 房江の伯父 嫁スマ（養女だった房江にいつまでも金をせびりに来る）
山下 則夫 房江の最初の亭主 DV夫
村井 鶴松 あや子の亭主 優しい
あや子 熊吾の姪
美津子 鶴松の娘
白川 益男 妻に死なれ、美津子を後添いにしたが、結局自分は早死に
浅見 敏光 料亭まち川の常連 浅見自動車工業 日刊自動車新聞
山岡省二郎 北海道⇔大阪 行ったり来たり
精栄海運 岩井道太郎（故人：元貴族） 娘の岩井亜矢子⇔辻堂と愛人関係になった
増田伊佐男 熊吾に少年の頃から恨みを持つ宇和島のチンピラやくざ
長八じい 村の長老
リキ 長八じいさんの孫
野沢 政夫 妻子がありながら熊吾の妹タネに子を産ませた。城辺のダンスホール店主
タネ 熊吾の妹 城崎→尼崎お好み焼き屋開店（明彦 千佐子 異父兄妹の母）

和田 茂十 魚茂の事業主 賭け鬪牛で熊吾に借りができた 県議に出ようとしたが癌で死ぬ
 猪吉 熊吾と同年の警官
 中村 音吉 ビルマで戦死と思われていたが松山港に帰ってきた。ダンスホール提案。
 万崎 栄良 愛媛県議
 米村 喜代 おでん屋の主人で千代麿の不倫相手 千代麿の子を宿す（美恵）→城崎 突然死
 ムメばあ 嘉代の祖母
 喜助じい 一本松の熊撃ちじいさん
 浦辺 ヨネ 御荘で居酒屋をやってる時伊佐男の子を孕む（正澄）→城崎 小料理屋を営む
 杉野 信哉 貴子の兄 杉野に子はいない 警官を退官後熊吾とプロパンガスの共同経営
 加根子 杉野の嫁
 ヨウコ 城辺のダンスホールに通ってくる音楽教師
 唐沢 熊市 熊吾の伯父
 イツ子 唐沢の嫁
 高 玉林 台湾の宝石ブローカー
 桂木 直子の愛人
 琴井 鉄次 筒井医師の義弟 強力接着剤（テントなどの修理用）の研究
 呉 明華 熊吾が開いた中華料理店（平華楼）のコック
 梅子 呉のむすめ。伸仁と仲良し
 深山 光恵 伸仁の担任 バカ教師
 坂田 照夫 淀川大橋の近くに住む馬車引きの男
 井手 秀之 金沢の旅館の息子 京都大大学院 麻衣子と駆け落ち のち金沢の嫁と復縁
 寺田 権次 タネが尼崎に引っ越してきてからできた男 工務店をやってるがかたぎではない
 杉下 医者（熊吾の糖尿病を指摘）
 園田三根子 熊吾の昔の妾（城崎での）以前三根子は片桐の囲い者でもあった。
 小谷光太郎 熊吾の糖尿病の治療医
 石黒 哲三 プロパンガス関西営業部総局長
 枘井 啓作 杉松産業（プロパンガス）の新社員
 枘井多加志 啓作と兄弟 杉松産業（プロパンガス）の新社員
 青木 照三 近江丸の船長 酒癖が悪い 船火事で死んだ
 観音寺ケン 伸仁をかわいがるやくざ
 西条あけみ （本名森山博美）伸仁と仲良しのミュージックホールのダンサー 祖父がロシア人
 高瀬 勇次 富山での熊吾の世話人
 劉 偉慶 台湾華僑 中華食材輸入業者
 久保 敏松 中古車のエアブローカー。優柔不断。最後は熊吾の資金を賭け将棋につぎ込む。
 倉田 百合 観音寺ケンの愛人 子を宿す（どうしても産むという）
 嶋田 元雄 富山の房江と伸仁との家主
 磯辺 富雄 本名：李 尚基 ビリヤードラッキー店主
 上野 栄吉 ビリヤードラッキーのコーチ。シベリアの抑留生活中的の凍傷で右手指2本失う
 津久田咲子 タネのアパート（蘭月ビル）の住人 中学1年 美少女 盲目の香根の姉
 津久田清一 咲子の父親 大男で起こるとプロレスラー以上に危ない 口入屋 ムショ入り
 千代鶴 昔は新町の芸者 今は北新地のクラブ「しまづ」のママ 本名 島津育代
 田嶋カツ代 房江の勤め先「お染」の女主人 軽薄でいじわる
 徳沢 邦之 衆議院議員（愛川民衆）の私設秘書。F学園の土地払い下げで熊吾に恩がある
 丸谷 上海で羅一族のいざごごにつけ込んであこぎな商売をした。熊吾に追い出される
 月村 敏夫 伸仁の友達 新聞配達少年 蘭月ビルに住む 妹光子
 財津 彰夫 お染の客 呉服屋主人
 怪人 20 面相 蘭月ビルの住人（本名：恩田哲政）
 甲田 憲道 （実は北か南の人間 申 基憲）甲田鉄工所社長 タネの店の客
 刈田喜久夫 大工の棟梁 モータープール改装の仕事を熊吾がやってもらった
 亀井周一郎 カメイ機工社長（阿倍野区） 熊吾の昔の友人 とても好意的 癌で死ぬ

林田 信正 カメイ社長の運転手
 供 引基 ヤカンのホンギ 蘭月ビルの住人 茶道に詳しい 熊吾の推薦で亀井に雇われる
 張本アニイ 蘭月ビルの住人 チンピラやくざ アコギな金貸し
 桑野 忠治 インエータープールに出入り K塗料店の社員
 関 京三 中古車のエアブローカー 熊吾の事務所を勝手に使う 糖尿病で片足切断
 黒木 博光 関と同じ仲間
 佐古田 中古車解体業 シンエータープール内で仕事をしている
 野並多加夫 柳田商会社員
 菊池 春之 同上
 砂田 進一 ホルモン焼き屋 南予出身
 出雲 洋司 タチバナ商事KK社員
 根岸 平治 シンエーター常務 イヤなヤツ
 木俣 敬二 チョコレート屋 個人経営
 佐田雄二郎 はごろも新社員 若いが無能
 玉木 則之 同上 経理担当 よく働くが、ギャンブルではごろもの金を使い込む
 神田 三郎 シンエーターに勤めながら大学受験勉強 30歳 辞めた後松坂板金へ
 田岡 勝巳 モータープール新社員（柳田商会から派遣） 勤めながら夜学で勉強
 トクちゃん 中卒集団就職で来阪 パブリカ大阪北工員 途中で辞め守屋忠臣の弟子になる
 守屋 忠臣 人間国宝の螺鈿工芸市 京都在住
 富岡 進一 富岡海運社長 熊吾と中古車取引
 紀村 晋一 大倉学園 伸仁の担任
 沼地 珠子 出前配達の少女 キクちゃんと夜間ドライブで交通事故死
 東尾 修造 銀行退職→パブリカ大阪北専務へ→松坂板金を引き継ぐ→夜逃げ
 岡村 浩一 モータープール新事務員
 松田 茂 柳田寮新人 34歳 柳田の義兄の子
 三河 武吉 外車専門中古車ディーラー
 大村 兄弟 信一・孝二 松坂板金 板金工
 武部彦次郎 周 栄文と懇意だった 徳沢とつながり
 瀬口 進三 コック見習い
 河内 佳男 河内モーター 善助の息子
 伊達 恭二 ダテモーター
 鹿島 憲太 カシマオート
 阿部 久治 新大阪モーター
 辻原 和重 辻原自動車センター
 宇波 聖子 河内モーター事務員 50歳
 丹下 甲治 サクラ会理事長
 佐竹 善国 中古車協会警備員 右片腕がない
 ノリコ 善国の嫁 木俣の社員 よく働く
 須垣 春夫 元シンエーター管理部長
 幣原 悦男 京都 室町の刀剣商
 荘田 敬三 モータープール屋間の新管理人
 桐生 才蔵 大槻商会
 日吉課長 多幸クラブ（ホテル）人事部
 稲田課長 同総務部
 藤木 美代 多幸クラブ食堂従業員
 島本奈津子 松坂板金事務職 26歳 東尾とかけおち
 鈴原 清 熊吾が閉店する前の最後のはごろも社員